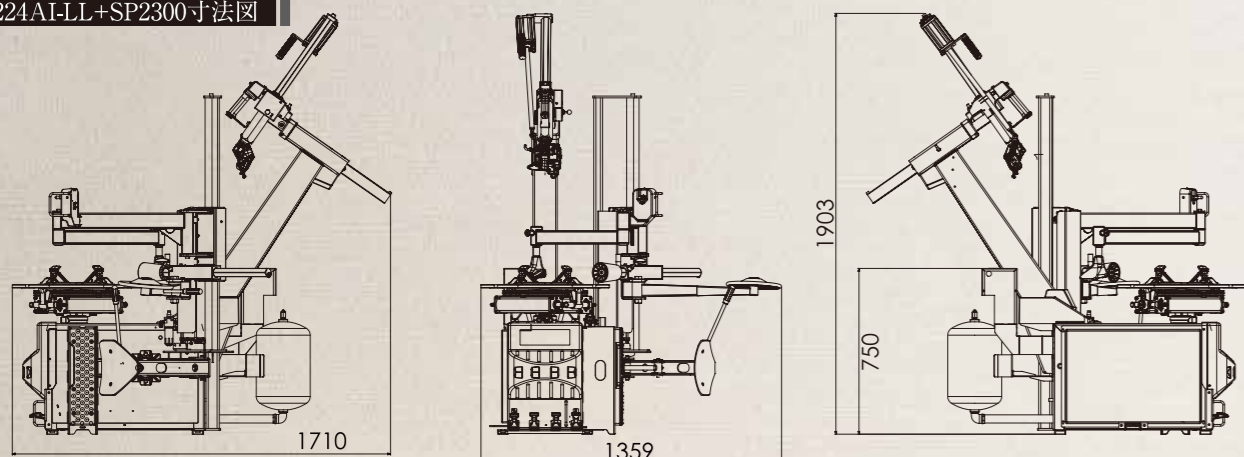
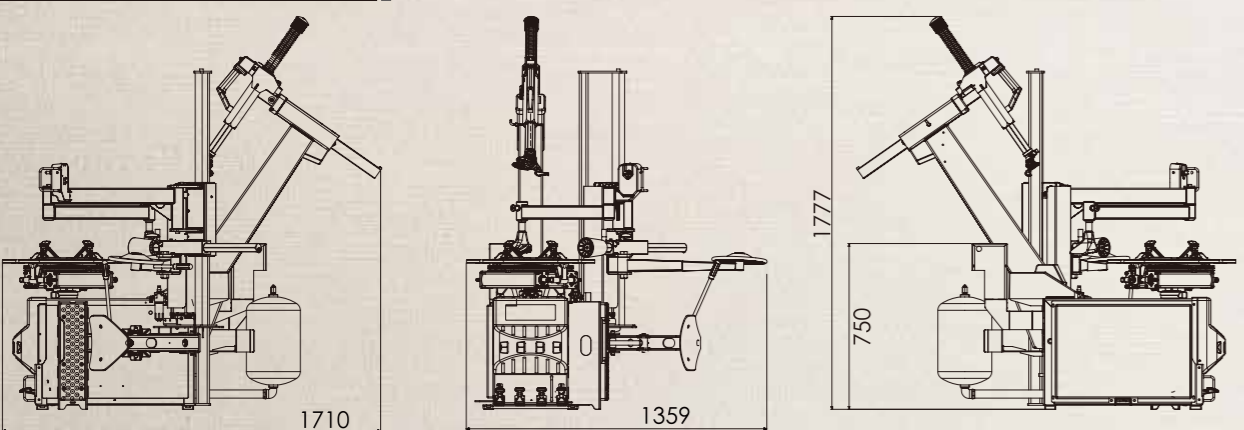


外観寸法図

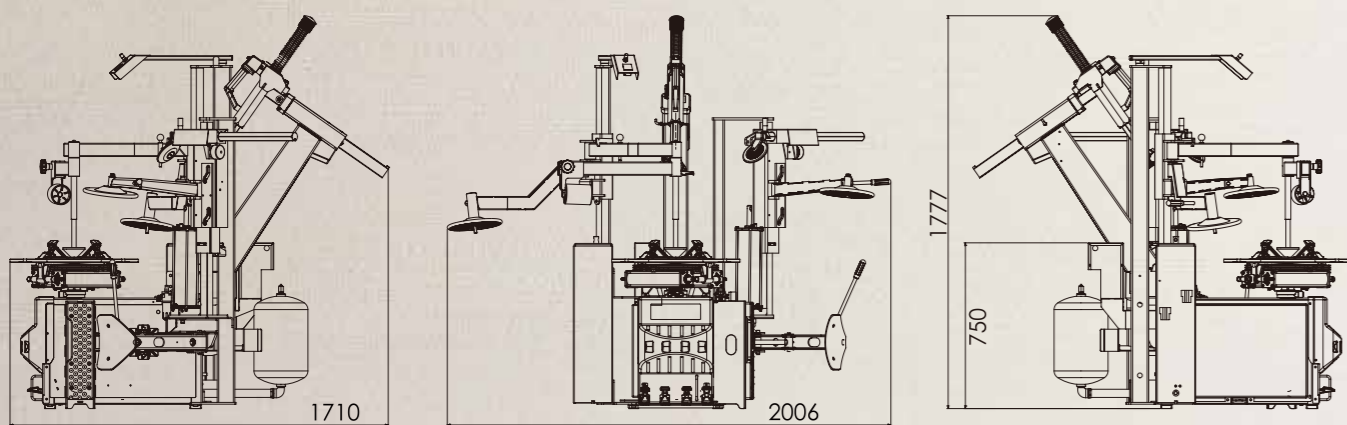
GL-222AI/224AI-LL+SP2300寸法図



GL-222AI/224AI+SP2300寸法図



GL-222AI/224AI+SP2000+PU1500寸法図



本体の仕様	GL-222AI	GL-224AI	レバーレスモデル
適用リム径	アウトサイド 10~22インチ	10~24インチ	—
	インサイド 13~24インチ	13~26インチ	—
適用リム幅	3.5~12Jインチ	3.5~14Jインチ	左に準ずる
最大タイヤ径		1100mm	
使用空気圧		1.0Mpa	
電源	(2S)標準仕様 (1S)防爆仕様	単相200V/1.1kw ペダル運動2スピード 3相200V/0.75kw シングルスピード	
寸法(W×D×H)	1105×1530×1965 ^{※1}		1105×1530×2090 ^{※1}
重量	255kg		260kg
標準装備	インフレーターユニット		
オプション	SP2000、SP2300、PU1500、ホイールリフティングアーム、MCアタッチメント、ビードデプレッサー		

※1 水平アームを引き出し、垂直軸が最上点にある状態で支柱を転倒させる際に描く弧のMAX高
※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。



オプション
OPTION

軽労化に特化した
レバーレス専用オプション

ホイールリフティングアーム

PU1500サポートユニットにボルトオンで
組付けるタイヤ昇降リフト。
リフティングバーは未使用時、ユニット本
体側に垂直に折りたためるため場所を
とりません。



インフレーター

チャック爪後方よりジェットエアを噴出しエアー
充填時のビードアップをサポートします。
※写真はジェットエア噴出のイメージです。



2Sテーブル回転

ターンテーブルの回転速度はベタル運動型の
自動2段スピードが標準仕様となります。
※防塵仕様除く



ビードデプレッサー

ドロップ部からのビード浮き
上がり防止し、扁平タイヤ
の上ビード外しや組み込み
をサポートするツールです。

標準付属品

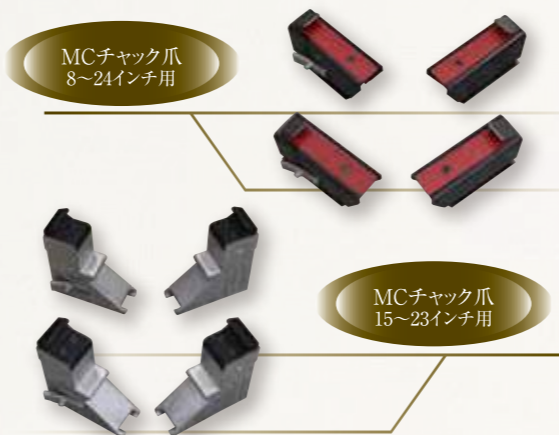
STANDARD



ビードホルダー、タイヤレバー、レバープロテクター、固形ビードループ、
スプルーラー、プレーカー爪プロテクター、リバースプロテクター、
インナープロテクター、アンダープロテクター

オプション

OPTION



MCチャック爪
8~24インチ用

MCチャック爪
15~23インチ用

TOYOSEIKI KOGYO CO.,LTD.
東洋精器工業株式会社は足廻りサービス機器のプランナー&サプライヤーです!!
東洋精器工業株式会社

本社 兵庫県宝塚市末成町7-3 TEL:0797(74)6605(代) FAX:0797(74)6606
http://www.toyoseikico.co.jp

横浜支店 神奈川県横浜市都筑区榎並木12-12 TEL:045(947)1621 FAX:045(947)1622
宝塚配送センター 宝塚市末成町7-3 TEL:0797(74)5483 FAX:0797(74)5493

札幌営業所 TEL:011(862)2526 仙台営業所 TEL:022(789)0861 新潟営業所 TEL:025(267)7762 埼玉営業所 TEL:048(774)5605 名古屋営業所 TEL:0561(62)5133 金沢営業所 TEL:076(237)6211
FAX:011(861)1275 FAX:022(789)0862 FAX:025(233)5244 FAX:048(774)4622 FAX:0561(62)5017 FAX:076(237)6879

大阪営業所 TEL:0797(74)6603 岡山営業所 TEL:086(243)0061 広島営業所 TEL:082(923)9792 高松営業所 TEL:087(866)9577 福岡営業所 TEL:092(288)7570
FAX:0797(74)5493 FAX:086(243)2165 FAX:082(923)9794 FAX:087(866)9578 FAX:092(288)7580

トレーニングセンター：仙台・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡

PIT

GL-222AI GL-224AI

(FULL AUTOMATIC & HIGH QUALITY STANDARD MODEL)
PRODUCED by CORGHI

研ぎ澄まされた究極のタイヤチェンジャー



Total Planner & Supplier for Tire Service Equipment
TOYOSEIKI
KOGYO CO., LTD.

PIT GL-222AI-LL & GL-224AI-LL

(FULL AUTOMATIC & HIGH QUALITY STANDARD MODEL)



特徴

LL (レバーレス) ユニット

めくり上げ時にタイヤビード損傷を生じさせない独自の機構を有し、熟練作業によるタイヤレバー操作に匹敵するスムーズさとパワーを兼ね備えています。 ※SP2300付に限り



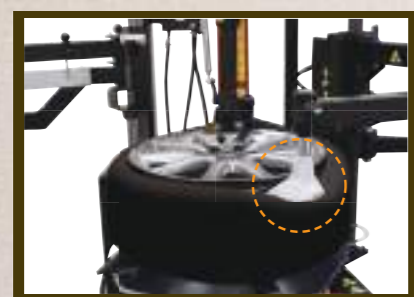
OPTION SP2300

プレスローラーとホールドプレス、ディスクプレートで構成された本体右側に配置される省スペースタイプのサポートユニット。一般的なタイヤから偏平タイヤやランフラットタイヤの軽劣・効率・安全作業に威力を発揮します。

■画像はGL-222AI-LL+SP2300

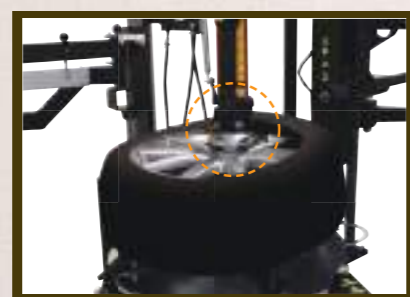
レバーレス仕様 SP2300サポートユニットによる

タイヤの脱着手順



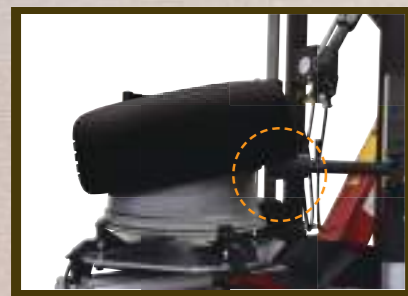
1 上ビードめくり上げ

手前がドロップ部に落ちていない時は、ホールドプレスで押さえ込みます。操作レバーを上げるとツールが自動でビードをめくり上げます。



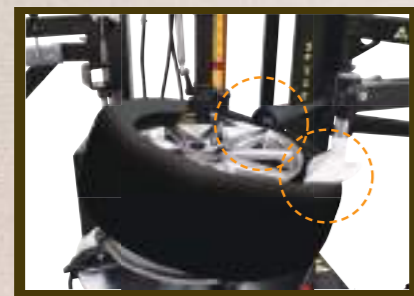
2 上ビード外し

ホールドプレスで逃がし、テーブル回転させ上ビードを外します。



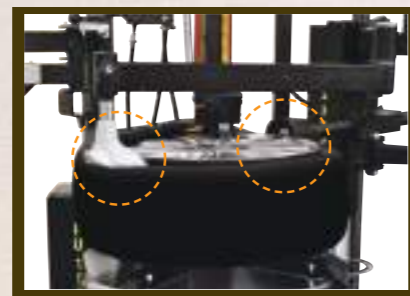
3 下ビード外し

レバーレスツールを使用せず、プレスローラーで下ビードを押し上げると素早く外すことができます。



4 ツールのセット

バルブ位置に注意し、プレスローラーとホールドプレスを効果的な位置と深さに配置してください。



5 上ビード組込み

テーブル回転させるとビードはドロップ部へ誘導され、偏平タイヤも安全に楽に組み込みます。

PIT GL-222AI & GL-224AI

(FULL AUTOMATIC & HIGH QUALITY STANDARD MODEL)



OPTION SP2300

■画像はGL-222AI+SP2300

SP2300サポートユニットによる

タイヤの脱着手順



1 ホイールのチャッキング

ホイールセンターをセンタープレスバーで押さえ込むことにより、ホイールのチャッキングを容易にします。



2 タイヤレバー挿入

偏平タイヤの場合は、プレスローラーでビード部を押さえることでタイヤレバーの挿入が容易になります。



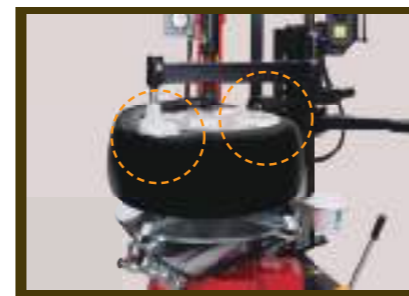
3 上ビード外し

ホールドプレスで手前ビードを押さえ込んでドロップ部に誘導することでタイヤレバーでの上ビードめくり上げが容易にできます。



4 下ビード外し

タイヤレバーを使わずにそのままプレスローラーだけで下ビードを外すことができます。



5 上ビード組込み

バルブ位置に注意してプレスローラーとホールドプレスをセットし、回転させるとビードはドロップ部へ誘導され、偏平タイヤも安全に楽に組み込みことができます。

特徴

可変チャックレンジ機構
チャッキングリンダー固定金具のロックノブ位置を変えることでワンタッチでレンジ切換えできます。
※GL-222AIは片側※GL-224AIは両側



PIT GL-222AI & GL-224AI

(FULL AUTOMATIC & HIGH QUALITY STANDARD MODEL)



PU1500

ホイール中心を起点に弧を描く機構のホールドプレスローラーとディスクプレートを有する本体左側に配置されるサポートユニット。ビードドロップが不十分な際にプレスした状態でローラーを可動させることが可能で、偏平タイヤやランフラットタイヤの着脱過程で高レベルの作業環境を享受できます。

OPTION



OPTION

SP2000

上面はビードブレイカー作業を省略しても、2ウェイ独自機能を有するディスク型ビードローラーで容易にビードブレイクできる能力を装備。タイヤ着脱時におけるビードへのストレスを排除し、作業の安全・効率化に極めて有効です。

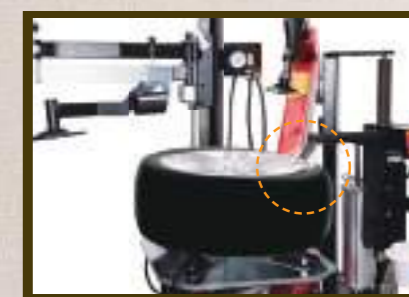
■画像はGL-224AI+SP2000+PU1500

SP2000プレスローラー／PU1500ホールドプレス併用によるタイヤの脱着手順



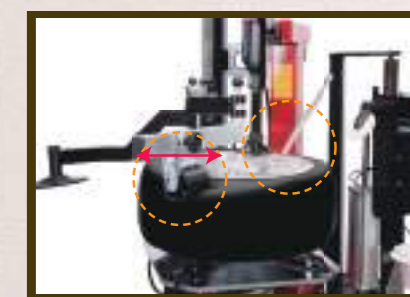
1 ホイールのチャッキング

ホイールセンターをセンタープレスバーで押さえ込むことにより、ホイールのチャッキングを容易にします。



2 ビード落とし

偏平タイヤの場合は、ビードブレイカーでチャッキング側ビードだけを落とし、上側ビードはプレスローラーを用いて落とすこともできます。



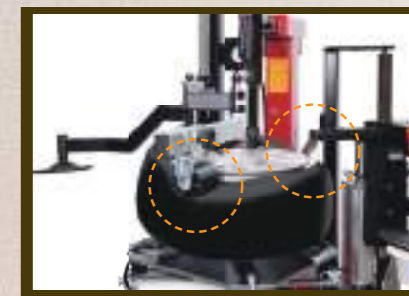
3 上ビード外し

プレスローラーでレバーの挿入をスムーズに、ホールドプレスで手前ビードを押えてドロップ部に誘導することで、レバーでの上ビードのめくり上げが容易にできます。



4 下ビード外し

レバーの引き起こしを容易にする為に、左右のディスクローラー(円盤)で支え、タイヤを持ち上げます。



5 上ビード組込み

バルブ位置に注意し、ビードローラーとホールドプレスを効果的な位置と高さに配置してテーブル回転させると、偏平タイヤも安全に楽に組み込みます。

特徴

2ウェイビードローラー
ドロップセンター側へ自動的にプレッシング移動する独自の機構により、タイヤビードにストレスを与えません。

(SP2000)